



●VOL.50号 2021年12月22日 発行

八潮市長 大山しのぶ

ニュースレター 風

■大山しのぶ事務所
埼玉県八潮市八潮2-18-8

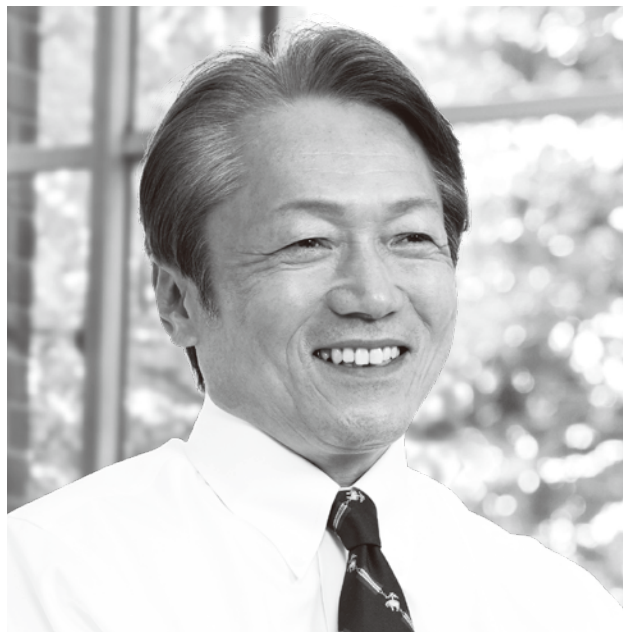
パークアヴェニューK

TEL.048-994-6000

FAX.048-994-6001

■最新情報はホームページで
<http://www.s-oyama.jp/>

編集・発行／やしおマメ倶楽部 〒340-0815 八潮市八潮2-18-8 Tel.048-994-6000



いつも八潮市の市政にご理解・ご協力賜り、まことにありがとうございます。今年の9月の市長選挙を経て、私の新しい任期である3期目がスタートいたしました。気力・体力も充実し、日々、元気に市政運営に邁進しているところです。

振り返れば、今年一年は、全国的にもコロナに振り回された一年でした。いまは、社会・経済活動も少しずつ戻りつつありますが、「アフターコロナ」までいくには、まだまだ時間がかかるでしょう。引き続き、お互いに感染拡大防止に努力をしていきましょう。

1 公約の進捗状況をご報告… 着実にかたちになっています。

さて、ここで私が掲げさせていただいた公約の選挙後の進捗状況の概要をご報告します。

まずはコロナの対策です。ワクチン接種を最優先課題に位置づけました。市では緊急性や優先度を勘案しながら、大胆に業務の取捨選択をした上で、ワクチン接種に注力しました。その結果、12月1日時点で12歳以上の全年齢では84.6%、65歳以上では93.1%の方が2回の接種を終えており、いずれも全国平均を上回る数字となっています。県内でも一位、二位を争うスピードでした。医療関係者の皆様をはじめ、多くの方々にご協力賜りましたことを感謝しております。

一方、コロナ禍による経済への影響は、いまだに全国的に拡大しています。市内の製造業をはじめ、事業者の方たちの資金調達を援助するため、市が負担し、融資金利ゼロというメニューを用意しています。また、昨年度に比べて売上が落ちたところへの給付金、飲食店への第3弾のテイクアウトデリバリー事業など、これらは補正予算でしっかりと対応してまいります。

また、公約した「八潮市学校給食ビジョン」の策定も着実に進んでいます。学校給食は、安全・安心であることは大前提であり、さらに子どもたち一人ひとりが

2021年～2022へ 力強く、3期目をスタート

「おいしいな」「食べてよかったな」と思えるよう、市長として、教育委員会と協力し、しっかりと取り組んでまいります。

災害に強いまちづくりに向けた「八潮市国土強靱化地域計画」は、来年に向けてほぼ完成する方向に進んでいます。さらにSDGs(持続可能な開発目標)理念に沿って、LGBT多様性への対応などについても、審議会での議論も含め、つくり上げるための準備にも入っていますので、体制はできています。

2 八潮市の次なる課題… 北部の振興にも取り組みます。

八潮市の次の課題として、北部の振興が求められています。かねてより要望してきたスマートインターチェンジも国のテーブルに乗ってきました(裏面参照)。スマートインターは外環道へのアクセスの向上のみならず、道の駅などをつくることで、まちづくりの拠点として非常に重要です。国や県等と協力をしながら、さらに積極的に進めます。

北部は団地を抱えています。市全体の高齢化率の平均は26%ほどに対し、団地の高齢化率が40%を超えているところもあり、大きな課題です。伊草団地をモデル地区にして進めていた地域包括ケアシステムの効果を他の地域にも拡げてまいります。

3 モビリティ、DXの導入… 新事業にも挑戦します。

新年度からモビリティ(移動)にも取り組みます。市民の皆様の移動手段をどのように確保するのかは、これからの大きな関心事です。10月には「八潮市地域公共交通計画」を策定しました。誰もが利用しやすい公共交通網づくりを目指すため、国としっかり協議し、次世代交通システムMaaS(Mobility as a Service)導入へ、実証実験をしていきたいと思っています。

市役所のDXの導入も取り組みます。推進体制をつくり、意識改革をしながら、新しい庁舎が出来るまでに市役所のDXを実現していきたい。より働きやすい、よりサービスが良くなるという方向性をはっきりと示しながら、取り組んでまいります。

令和5年4月には大曽根小学校の北側に、都市公園・南部西地区1号近隣公園がオープンします(裏面参照)。市民の皆様との対話のなかで「いままでにない公園をつくらう」ということで障がいのある無に関わらず子ども達が安全に遊べるようなユニバーサルな施設を含む公園です。これは八潮市で初となります。夏は水浴びができ、野球やボール投げができるような、複合的な公園です。今後は、このような公園を各地に展開していき、市全体の公園のレベルアップにつなげたいと考えています。小中学校を中心に、GIGAスクールもさらに進めます。教育はまちの未来を創る最重要課題なので精力的に取り組めます。

令和5年4月には大曽根小学校の北側に、都市公園・南部西地区1号近隣公園がオープンします(裏面参照)。市民の皆様との対話のなかで「いままでにない公園をつくらう」ということで障がいのある無に関わらず子ども達が安全に遊べるようなユニバーサルな施設を含む公園です。これは八潮市で初となります。夏は水浴びができ、野球やボール投げができるような、複合的な公園です。今後は、このような公園を各地に展開していき、市全体の公園のレベルアップにつなげたいと考えています。小中学校を中心に、GIGAスクールもさらに進めます。教育はまちの未来を創る最重要課題なので精力的に取り組めます。

これからの四年間で、第5次総合計画、地域防災計画など基本的な計画の見直しを進めます。つくった当時は、10年先、20年先を見据えた計画でしたが、それ以上にコロナというものが、大きなインパクトになりました。既存の概念を180°変えるぐらいの意識で、対応して参ります。

市政は市民の皆様との意識の共有、理解無しには進みません。情報発信や対話集会などを工夫しながら、コロナ禍でコミュニケーションが出来なかった部分を取り戻し、「住みやすさナンバー1のまち」に向かって、引き続き、全力を尽くしてまいります。

八潮市長 大山しのぶ

大山忍(おおやま・しのぶ) プロフィール

●昭和32年6月5日 八潮市八潮生まれ(64歳) ●八潮町立第三小学校(現・八潮市立八幡小学校)～草加市立高砂小、私立早稲田中学・早稲田高校を経て、成蹊大学工学部卒 ●大学卒業後、機械メーカーでサラリーマン～国会議員秘書経験12年 ●平成9年八潮に戻り、家業の農業を継ぐ ●平成12年、埼玉県議会議員に初当選(4期連続当選) ●平成25年9月8日の八潮市長選挙に立候補。1万9717票をいただき、八潮市長に初当選 ●平成29年9月3日、無投票で2期目当選 ●令和3年9月5日、1万9332票をいただき、3期目当選

2022年の新年報告会は中止します

新型コロナウイルスの感染拡大防止のためです。ご理解をよろしくお願いいたします。

新型コロナ
ウイルス
最新情報はコチラ

▶首相官邸



▶埼玉県



▶八潮市



2021年 活動ダイジェスト

2021年は、前年に引き続き、新型コロナウイルスが沈静化せず、八潮市としてはコロナ禍対策に大きな力をさく結果となりました。しかし、そんな中でも、新庁舎建設工事の着工、(仮称)外環八潮スマートインターチェンジが国の準備段階調査箇所に採択されるなど、大山しのぶ市長が過去8年間かけて取り組んできたことが、かたちとして見え始めた年でもありました。コロナ禍にあっても大山市長のリーダーシップのもとで、事業は着実に進んでいます。ここでは、その主なものをご紹介します。



新庁舎建設 工事の着工

先進的な省エネ基準である
ZEB Readyを県内初取得

令和3年10月8日に「八潮市新庁舎建設工事起工式」を行い、新庁舎の本格的な建設工事がいよいよスタートしました。新庁舎は環境にやさしい庁舎を目指し、その設計において光・風・雨などの自然エネルギーや太陽光発電や地中熱などの再生可能エネルギー等を積極的に導入することで、一次エネルギー消費量の53%削減を実現しました。この取組の結果、建築物省エネルギー性能表示制度(BELS)(※1)による5段階評価の最高ランクを獲得し、令和3年8月25日にZEB Ready(※2)認証を埼玉県内の庁舎で初めて取得しました。防災の拠点として、耐震性、安全性を確保するとともに、脱炭素社会に適合した将来にわたって市民にとって使いやすい庁舎を目指し、着実に工事を進めてまいります。



八潮市新庁舎
建設工事起工式



北側からの外観イメージ

(※1)国土交通省が主導する建築物の省エネルギー性能に特化した第3者の認証による建築物省エネルギー性能表示制度
(※2)再生可能エネルギーを除き、基準一次エネルギー消費量から50%以上の一次エネルギー消費量削減に適合した建築物

ゼロカーボンシティ 共同宣言

5市1町で持続可能な
社会の模範に

令和3年4月26日、本市を含む埼玉県東南部地域の5市1町で、気候変動を抑制するために「ゼロカーボンシティ」を共同で宣言しました。5市1町では1965年から可燃ごみと屎処理の共同処理を行うほか、これまで様々な分野における広域連携の取組を推進しており、2050年に向けて、これまでの経験と各自治体の特性を活かした「ゼロカーボンシティ」の実現と圏域の活性化につながる取組が期待されています。国際社会の一員として、本市においても宣言の実現に向け、市民への普及啓発や太陽光パネル設置等による自然エネルギーの利用拡大、市内企業の技術転換の支援等を積極的に進めてまいります。



5市1町の首長が勢揃いして共同宣言

特色ある公園 整備を推進

八條北運動広場完成、南部
西地区近隣公園の工事開始

東埼玉資源環境組合の屎処理施設の跡地を活用し、市内で初めてとなる「天然芝」が敷設された多目的広場を整備し、令和3年7月に開設しました。市内の少年サッカーチームを中心に活用されています。また、八潮南部西一体型特定土地区画整理事業地内の1号近隣公園の工事を令和3年度から開始しました。ボール広場や、幼児広場、健康広場などゾーン分けをし、あらゆる年代の人が楽しめる公園を整備していきます。令和5年4月の供用開始を目指し、工事を進めてまいります。



南部西地区1号近隣公園完成イメージ

(仮称)外環八潮スマートICが
準備段階調査箇所に採択

北部発展に
大きな期待

本市が整備に向けた検討を進めている(仮称)外環八潮パーキングエリアに接続型の(仮称)外環八潮スマートチェンジが、令和3年8月6日に国土交通省の準備段階調査箇所に採択され、同年11月には、第1回準備会を開催しました。スマートインターチェンジが実現すれば、交通利便性の向上や地域経済の発展に大きな効果があるものと期待されます。引き続き地域や関係者の皆様と連携し、全力で事業を推進してまいります。



第1回(仮称)外環八潮スマートIC準備会で挨拶

保育所、学童保育所等の充実、
新生児聴覚スクリーニング検査
費用助成の拡充

子育て支援
事業の推進

八潮駅周辺の子育て世帯の増加や女性の就業率の上昇などによる保育需要に対応するため、新たに保育所、小規模保育施設、そして学童保育所を一箇所ずつ設置しました。引き続き、保育需要を注視し、必要な整備を進めてまいります。また、昨年度から開始した新生児聴覚スクリーニング検査費用助成事業について、今年度から対象を全ての新生児に拡大し、さらなる検査費用の負担の軽減を図っています。



コピーリススクールやしお(保育所)



アルタベビーやしお駅前園(小規模保育施設)

ボランティア協力や熱中症
対策のノウハウ提供

企業との協定
締結で連携強化

令和3年4月21日に第一生命保険株式会社、大塚製薬株式会社と包括連携に関する協定を結びました。第一生命保険株式会社におかれては、先般の東京2020オリンピック聖火リレーにおいて、ボランティアも含め、多大なるご協力をいただきました。また、大塚製薬株式会社においても、夏場の熱中症対策についての情報提供等のご協力をいただきました。今後も民間企業、団体と連携し、安全・安心なまちづくりと市民サービスの向上に資する取り組みを進めてまいります。



第一生命保険株式会社との協定締結式



大塚製薬株式会社との協定締結式

大山しのぶ
事務所

埼玉県八潮市八潮2-18-8 パークアヴェニューK
TEL.048-994-6000 FAX.048-994-6001

最新情報は
WEBで!

ホーム
ページ
公式
ブログ

<http://www.s-oyama.jp/>
<http://ameblo.jp/oyama-shinobu/>